

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	販路開拓支援事業			事業番号	015-007
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	商業流通 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3
			有	取組	中小企業の資金調達の円滑化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市産業振興アクションプラン					
3	事業開始年度	平成 11 年度		点検年度	令和 5 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	商工会議所法等					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内中小企業者等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内中小企業の競争力強化と取引拡大を図るため、堺商工会議所が実施する販路開拓に資する事業を支援し、市内経済の活性化及び税源の涵養につなげる。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	大手流通業者に対して市内事業者が自社商品を売り込む「売り込み型商談会」を開催する。さらに、市内事業者の商品PR力の向上及び販路開拓の促進に資するセミナーを開催する。また、令和2年度においては新型コロナウイルス対策事業として、過剰在庫を抱えている等の影響を受けた事業者に対し、クラウドファンディングの利用支援やネット通販への参画支援等を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺商工会議所
10	公民連携・協働事業	

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	
11 商談会での商談件数	社	目標値	1,500	750	750	750	
		実績値	1,254	85			
		達成率	84%	11%			
当該指標を選定した理由	本事業は市内中小企業の販路開拓を支援するものであり、その成果を示すため。						
目標値の設定根拠・算出方法	150社（想定来場企業数）×5件（1社あたり目標商談件数）=750件。商談会の実施回数について、令和元年度は2回であったが、令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け1回を予定。						
12 活動指標(成果を上げるための手段)	件	目標値	300	150	150		
		実績値	338	85			
		達成率	113%	57%			
当該指標を選定した理由	商談会に参加する事業所を増加させることが成果指標の向上につながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	大手流通業者（買手）10社×15社×1回=150社。商談会の実施回数について、令和元年度は2回であったが、令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け1回を予定。						

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	販路開拓支援事業	事業番号	015-007
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

（単位：千円）

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	7,016	7,024	7,024	5,450	6,005
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	7,016	7,024	7,024	5,450	6,005
14 人件費 (b)	984	810	1,968	1,968	1,968
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,000	7,834	8,992	7,418	7,973

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	R3				R2	R3		
16	販路開拓支援事業補助金	R2	決算	5,427	5,427		R2	決算		
		R3	予算	5,981	5,981		R3	予算		
	通信運搬費 (枠)	R2	決算	23	23		R2	決算		
		R3	予算	24	24		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
	R2	決算				R2	決算			
	R3	予算				R3	予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

①	区分	単位	令和元年度	令和2年度
	17	商談会での商談件数	社	1,254
②	上記①にかかる年間経費	千円	7,810	7,395
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,228	87,000

備考（算出についての説明等） 「②上記①にかかる年間経費」は補助金額と人件費の合計。

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 堺市内の中小企業等への販路開拓支援として、大きく4つの事業を展開した。  
 商談会事業では、逆マッチング型の商談会を開催した。開催方式は例年と異なり、新型コロナウイルス感染防止のため事前予約型でかつ7日に分けて開催したため、来場企業数及び商談件数が例年と比較して低い値となり、単位当たりの経費が大幅に増加した。  
 しかし、令和2年度は新たに新型コロナウイルス対策事業として、過剰在庫を抱えている等の影響を受けた事業者に対し、クラウドファンディングの利用支援やネット通販への参画支援等を行い、新たな販路の開拓を図るとともに当座の資金繰りや営業継続の支援を行うことができた。  
 また、企業コラボレーション促進支援事業では、「堺技衆」認証企業を中心にオンラインでの交流会実施やYouTube堺技衆チャンネルを開設する等、ブランドイメージの向上につとめた。最後に、セミナー事業では営業力強化やウィズコロナ時代の使えるクラウド技術等、多様なテーマを学ぶことで、販路開拓・販売促進の可能性を拡げることができた。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業で実施する商談会事業では、市内中小企業にとって普段あまり商談機会のない大手流通業者との商談や出展企業のニーズを把握することができるなどメリットが多く、商談会来場企業に対するアンケート調査では、88%の企業で高評価を得ている。また、販路開拓の促進に資するセミナーの開催、クラウドファンディングやネット通販の利用支援に取り組むことで市内中小企業の競争力強化と取引拡大を図った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会経済活動の停滞が懸念されている状況下において、今後も市内中小企業等のニーズを踏まえた事業実施を図り、市内の経済成長を後押ししていく。